

我孫子市教育委員会 あて

我孫子市立布佐中学校 学校運営協議会
会長 篠崎 和彦

令和5年度 第4回 学校運営協議会 会議報告書

このことについて、我孫子市立学校運営協議会規則第12条の規定により、次のとおり報告します。

出席委員氏名：【布佐中】篠崎和彦，山下正信，松島紀，香取武，比江嶋眞友巳，鈴木伸樹，森政俊光，肥後真理子
【布佐小】鈴木治男，小島茂明，鈴木高士，板倉博，沼尻和江，小林道治，石川清隆，日景翔大
【布佐南小】志垣健二郎，駒場アサ子，新堀都，佐々木祐子，山田恭生，糸賀貴之

記録者氏名：肥後真理子

(令和6年3月6日実施)

主な議事	発言者	協議・発言等の概要
1. 開式の言葉	校長	・令和5年度第4回布佐中学校区学校運営協議会を開会する。
2. 会長あいさつ	会長	・布佐中区として実りのある一年となった。 ・これからも、校内行事等を委員で情報共有していきたい。 ・来期に向けてさらに充実した会議にしたい。
3. 協議 ①各校の学校運営協議会を振り返って	会長	・布佐小では、運動会を全校で応援できた。 ・150周年記念 ・松倉校長の石碑掃除を6年生全員で行った。 ・昔遊びの授業後、1年生と給食を一緒に食べる機会をいただけた。
	会長	・毎日の登校見守り等を通して、児童との会話が増えてきた。 ・ミシンの操作や昔遊びの授業を行った。 ・現場の先生方の意見が出てきたので、地域としてどのように動いたらよいかを模索することができた。
	会長	・教育ミニ集会では、原先生の講義・グループでの意見交換を行った。 ・歌声交歓会や合唱祭に参加し、保護者と顔合わせをすることができた。生徒たちは演奏会后に自分たちの意見を述べていた。 ・11月には、部活動の部長等の代表生徒と意見交換をすることができた。 ・家庭科の調理実習ボランティアを行い、イワシのかば焼きづくりに挑んだ。

②令和6年度小中一貫教育の年間計画について	教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度の予定は資料の通りである。変更がある場合は、4月にお伝えする。 ・来年度は10月に3校合同レク大会を予定している。
③令和6年度グランドデザインについて	校長	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には今年度と変わらない。「協働」の漢字を我孫子市や指導要領に則って統一させる。この形で承認していただきたい。
④質疑及び意見交換	会長	<ul style="list-style-type: none"> ・承認いただけるか。
	副会長	<ul style="list-style-type: none"> ⇒全会一致で承認 ・グランドデザインがたいへん素晴らしいので、もっと多くの方々に知ってもらいたい。ミニ集会や広報活動で広めたい。 ・小中一貫教育実施計画では、プロジェクト部会の段階で、地域学校協働本部推進員からの意見を擦り合わせたい。
	校長	<ul style="list-style-type: none"> ・グランドデザインの周知は、保護者や新入生へ伝える機会はある。地域については、ホームページを通して伝えたい。ミニ集会の議題になるかどうかは、会長等と相談していきたい。
	会長	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回のプロジェクト部会で、岡田博士生誕150周年について、ぜひ何か載せてほしい。
	会長	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方はいろいろと忙しい。そのため、新しいことを作るのではなく、地域が要望を聞いていきたい。
4. 閉会	校長	<ul style="list-style-type: none"> ・岡田博士の件は、夏季研修会の中で取り上げようかという話が出ている。前向きに検討したい。 ・地域との連携をこれからも密にしていきたい。 ・学校評価アンケートの公開方法が3校で異なっている。個別の保護者の意見については、各校で足並みを揃える、また文科省からも示されているので、「直接載せない」という形で承認を取りたい。
	会長	<ul style="list-style-type: none"> ・承認いただけるか。
5. 各校に分かれて ①各校学校経営方針を振り返って	校長	<ul style="list-style-type: none"> ⇒全会一致で承認 ・令和5年度第4回布佐中学校区学校運営協議会を閉会する。
	校長	<ul style="list-style-type: none"> ・12月に文化活動発表会を行った。3年生は1年生のときにはコロナ出なかったと思うが、中心となって頑張った。講師の先生方にも通常の授業ではできないような内容についてご指導をいただきました。 ・あいさつ運動は昨日行い、元気に中学生があいさつをしている姿が見られた。また、地域の方々にもたくさん声をかけていただいた。 ・小中一貫の日には、第2回布佐中登校を行った。英語の授業で小学校6年生と中学校3年生が合同に参加した。中学生は英語で

② 質疑応答	副会長 委員	<p>委員会や部活動の説明を行った。その後、タブレットを用いてゲーム形式で授業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動見学も行い、中学生が各部活の説明をしながら案内をした。 ・1年生は、来年度の林間学校に向けて佐藤館長の講義を受けた。噴火の様子について実験を交えて行った。 ・今後の課題は、不登校対策と学力向上である。 ・来年度は、地域の方に学習ボランティアをお願いしたい。 ・コロナ禍を挟んで、地域の学習ボランティアは激減した。鈴木推進員と相談して、若い世代のボランティアも引き継いでいきたい。 ・文化活動発表会は感動した。三味線講座は2年生男子一人だが、頑張っていた。 ・6年生の娘は、中学校登校の様子を家でたくさん話してくれる。英語の授業は何を言っているかわかりづらかったが、部活はバレーボール部に入りたいと言っている。 ・学習面では、自分の息子も提出物で苦戦している。テストの点数は取れていても、提出物の期限を守れなかったりして、通知票の評価に結びつくのが難しい。家庭でも頑張らせたい。
③ 学校評価アンケートについて	委員 校長 教頭	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物をやらせるだけが評価につながるのではない。 ・副教材の購入にもお金がかかる、提出できずに学校から足が遠のく等の理由があるので、時間がかかるかもしれないが、見直していきたい。 ・生徒アンケートからは、予習・復習について課題がある。 ・地域アンケートでは、あいさつ運動の成果が表れていると感じる。 ・地域の方が「学校行事に参加したいか」という所がやや低かった。 ・保護者のアンケートは、「お子様は授業が分かりやすいと言っているか」「宿題に取り組んでいるか」という所が低い傾向にある。
④ 質疑応答	副会長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員のアンケートは、図書館活動に関するもの、家庭学習と授業の連動についての部分が低かった。 ・生徒たちは、タブレットを用いた授業がわかりやすいと答えている。タブレットの利用は効果的だったと思う。 ・掃除に一生懸命取り組んでいるかのポイントも高い。将来の人間形成に向けて大切なことだと思う。 ・生徒はいい生徒である。しかし、学力が伴

<p>⑤諸連絡</p> <p>6. 解散</p>	<p>副会長</p> <p>会長</p> <p>校長</p>	<p>うかどうかは別である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強の仕方がわからないところがあるかもしれない。自分の孫は布佐中ではないが、高校で苦勞したくない、部活もたくさんの中から選びたいという目標を持っている。小学校から「勉強をする」という気持ちを持つことが大切である。家庭が「勉強はするものだ」という気持ちを育む必要がある。 ・「布佐子ども学習室」を開いた理由は、「家庭学習を習慣化する」ことである。布佐小・布佐南小・新木小の児童が来て勉強している。保護者の中には、学習に興味のない方もいらっしゃる。その意識改革もできればいいと考えている。 ・身につけなければいけない学年の内容を定着させていない子どもがいる。その子どもたちの学力向上も大切である。 ・学校運営協議会の山下副会長と香取委員がご退任なさる。また、延命寺の足立先生が加わることとなった。
--------------------------	--------------------------------	---

傍聴人 0人